

一般社団法人「国際教育研究コンソーシアム」

<2025 年度事業報告案>

2025 年度は、主としてトヨタ財団助成事業、マイクロレデンシャルの運用にかかわる研究への参画、国際教育夏季研究大会 (SIEJ) 2025 に取り組んだ。特に、SIEJ においては、過去最高の 371 名の会場参加、133 名のオンライン参加を得て、成功裡に実施することができた。

一方、年間の収支としては、SIEJ による事業収入に依存しており、収入源の多角化は実現できていない。また、事業計画において取り組みとして目指してきた以下の2つの事項に関して、具体的なアクションを起こすことができなかった。次年度に向けた反省材料としていきたい。

- 日本およびアジアの高等教育の国際化や国際(留学生)教育の現状や政策動向に関して、定期的に RECSIE として小論をプレスリリースとして発信する。
- 会費制導入を含めて収入構造の改善のための検討を継続する。

2025年度に取り組んだ事業内容に関しては以下のⅠからⅢのとおりである。

I. トヨタ財団助成事業 (2025 年度の取り組み)

国境を越えて来日する外国人材の学修歴や資格に関し、適切な資格認証・評価 (FCE: Foreign Credential Evaluation) をおこなう体制が確立しているとはいえない。本プロジェクトでは「日本型資格枠組み (NQF)」を活用した FCE を運用していくことを目指してきた。また、2023-2024 年度において行った以下 2 件の調査分析に基づいて、在住外国人のキャリア形成にかかわる課題とニーズ分析を行ってきた。

A) 難民認定申請者の学修歴資格と就労に関する分析

B) 在日ネパール人の学修歴資格と就労に関する調査

本事業の最終報告会として、以下の公開セミナーを実施した。

<2026 年 4 月 14 日公開研究会の開催>

テーマ: 「外国人材を戦略的に受け入れるための社会基盤の創設」

日 時: 2026 年 4 月 14 日 (火) 16:00~18:00

会 場: 明治大学 中野キャンパス 6F プレゼンスペース

定員: 36 名

<プログラム>

1. 新たな在留資格制度後の外国人雇用環境 (杉田昌平弁護士)

2. 実質的にはじまった移民政策と今後の展望（毛受敏浩）
3. 在留外国人の資格認証とキャリア形成を考える
 - a) JP-MIRAI（責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム）の取り組み（JICA 宍戸健一）
 - b) 難民申請者のキャリア形成に向けて（NPO 法人 WELgee 安齋耀太）
 - c) ネパール人コミュニティにおける調査報告（シュレスタ・ブパール・マン）
 - d) GCCPJ の取り組み（芦沢真五）

<主催>

明治大学国際ダイバーシティ教育研究所

トヨタ財団助成対象プロジェクト「外国人材を戦略的に受け入れるための社会基盤の創設」

II. 国際教育夏季研究大会(SIIEJ) 2025

国際教育夏季研究大会(SIIEJ 2025)は、8月6日・7日に京都先端科学大学(KUAS)で開催され、過去最高の 371 名の会場参加、133 名の方にオンライン参加いただき、大学で国際教育に従事する教職員が相互に学びあう場として、成功裡に終了することができた。2025 年の大会テーマ「テクノロジーと多様性は国際教育をどう変革するか 一問われる高等教育の社会的役割」 "The Transformation of International Education: Technology, Diversity, and Social Responsibility in Higher Education"に基づいて多面的な情報交換、ディスカッションを行った。

大会テーマ:テクノロジーと多様性は国際教育をどう変革するか 一問われる高等教育の社会的役割

実施日 2025 年 8 月 6 日(水)・7 日(木)

会場:京都先端科学大学

主催:一般社団法人 国際教育研究コンソーシアム(RECSIE)

共催:大学の国際化促進フォーラム・一般社団法人海外留学協議会(JAOS)・京都先端科学大学・東北大学グローバルラーニングセンター・関西大学グローバル教育イノベーション推進機構(IIGE)・JIGE(Japan hub for Innovative Global Education)・RARA(Ritsumeikan Advanced Research Academy/立命館先進研究アカデミー)・東洋大学・関西国際大学

後援:文部科学省・特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)・一般社団法人 大学行政管理学会・NPO 法人学校経営研究会・大学マネジメント研究会・留学

生教育学会 (JAISE)・BRIDGE Institute

DAY 1・8月6日(水)13:00-17:00

会場:嵯峨野ホール

13:00-13:15

主催者挨拶

＜登壇者＞ 芦沢真五

神田外語大学 教育イノベーション研究センター 教授

13:15-14:00

オープニングイベント / 文部科学省による特別講演

「高等教育の国際情勢とこれから」

＜登壇者＞ 佐藤邦明

文部科学省高等教育局参事官(国際担当)

14:00-14:45

開催校による特別講演

「多様性とテクノロジーが拓く未来:KUAS が目指すストリートスマート人財育成」

＜登壇者＞ 田畑修

京都先端科学大学 副学長 教授博士

14:45-14:50

スポンサー挨拶

＜登壇者＞ Sergio Alberto Inclán GALLARDO | Acumen

15:00-15:30

Keynote 1

「テクノロジーによる教育ではなく教育のためのテクノロジーを」

＜登壇者＞ 佐倉統

実践女子大学 人間社会学部 教授 / 東京大学 大学院情報学環 プロジェクト教授/
理化学研究所 革新知能統合研究センター(AIP)チームリーダー

15:30-16:00

Keynote 2

“The Future of Global Education – AI, Technology, and the Next Frontier”

<登壇者> Girish C. BALLOLLA

The Founder and CEO of Gen Next Education

16:10-16:55

パネルディスカッション

<パネリスト>

佐倉 統

実践女子大学 人間社会学部 社会デザイン学科 教授 / 理化学研究所革新知能統合研究センター(AIP) チームリーダー / 東京大学 大学院情報学環・学際情報学府 特任教授

Girish C. BALLOLLA

Founder and CEO of Gen Next Education

Blair THOMSON

Director of Study Abroad, Office of Global Engagement, The University of Mississippi

<ファシリテーター>

池田 佳子

関西大学 国際部教授 グローバル教育イノベーション 推進機構副機構長

DAY2 - 8月7日(木) 13:00-17:00

会場:嵯峨野ホール

13:00-14:00

第一部:パネルディスカッション

「最近の国際学生流動性の動向と政策」

<モデレーター>

太田 浩 | 一橋大学

<パネリスト>

Daejoong SON | Konkuk University, South Korea

Blair THOMSON | University of Mississippi, USA

Sagar BAHADUR | Acumen, India

Guy PERRING | etio, Malaysia and UK

Hai LIU | Chengdu University, China

14:15-14:45

「大学の国際化促進フォーラム」特別セッション 第1部

「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業:グッドプラクティスの横展開」

<司会> 大根田 修 | 筑波大学 国際担当副学長

「チェンジメーカー育成で社会を動かす:ソーシャルインパクト創出プログラム OSIP」

<登壇者> 池田 佳子 | 関西大学 教授

「共創型国際共修の現在地:包括的国際化への挑戦と手応え」

<登壇者> 末松 和子 | 東北大学 教授

「JVCを活用した多文化共修マイスター制度」

<登壇者> 大庭 良介 | 筑波大学 教授

「大学の国際化促進フォーラム」特別セッション 第2部

「日本の高等教育リソースの海外展開:オンライン教育コンテンツを中心に」

JV-Campus は、日本の高等教育の国際的玄関口として機能する、オールジャパンのオンライン教育プラットフォームであり、国内外の 80 機関以上が参加し、500 以上のコンテンツを配信している。その中には、JV-Campus 上で無料利用できる 100 回分以上の授業コンテンツが含まれており、これらを活用してマイクロクレデンシャルプログラムとして世界中の学習者に届けたり、スクーリングと単位付与を伴うパッケージを化し大学の授業科目として活用する試みがスタートする。本セッションでは、このようなオンラインを活用した教育交流の新たな取り組みを紹介した。

<司会> 大庭 良介 | 筑波大学 教授

「ポスト「ポストコロナ禍」の時代に求められる Augmented New Pedagogy(テクノロジーで「拡張」された新しい教育)」

<登壇者> 古川 智樹 | 関西大学 教授

「ウズベキスタンにおけるデジタル教材の展開」

<登壇者> 埴 弘明 | 株式会社デジタル・ナレッジ 代表取締役

「マイクロクレデンシャル・フレームワークと日本マイクロクレデンシャル機構設立の影響」

<登壇者> 井上 雅裕 | 大正大学 教授

「世界から見た日本の高等教育マーケット」

<登壇者> 吉田 圭造 | デロイト・トーマツグループ マネージングディレクター

<SIIEJ2025 におけるワークショップ一覧>

[WS-A]留学生リクルートに必要なインフラとマーケティング戦略を考える

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 12:00

[WS-B]留学経験をキャリアに活かすための実践型支援ワークショップ

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 12:00

[WS-C]国際寮ワークショップ～寮の課題と学生の気づきを促す工夫を学び合う～

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 12:00

[WS-D]学生/私たち自身の多様性を“可視化”する:BEVI×BEVI-ChatGPT の活用

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 12:00

[WS-E]日韓交流の新しい可能性:「文化的憧れ」を出発点として異文化感受性を育む

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 12:00

[WS-F]CLIL ワークショップ:やさしくても考えさせる問いの設計

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 12:00

<SIIEJ2025 におけるセッション一覧>

[SS-1]SIIEJ 初めの一步

2025 年 8 月 6 日(水) 8:00 ～ 8:40

[SS-2]カリキュラムの国際化を推進する

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 10:20

[SS-3]Internship Programs for Exchange Students in Japan and Korea: Case Studies

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 10:20

[SS-4]テクノロジー時代の国際教育 ― 動画制作を通じた多様性の体験的学習と協働

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 10:20

[SS-5]身体的アプローチから学ぶ異文化受容とストレス・マネジメント

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 10:20

[SS-6]国際共修のプロジェクト活動における AI 活用とコミュニケーション

2025 年 8 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:00

[SS-7]Making International Students Happy and Satisfied to create Active Alumni Globally

2025 年 8 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:00

[SS-8]文系外国人留学生の長期インターンシップ実施手法と課題

2025 年 8 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:00

[SS-9]大学国際化の『実現力』を高めるために大学職員が持つべきスキルセットとは

2025 年 8 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:00

[SS-10] From Insight to Action: Hands-On AI Tools for Int'l Educators

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 10:20

[SS-11]大学の国際化、多様化に向けた留学生受け入れの課題

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 10:20

[SS-12]大学国際化を担うひとの育成を考える:2024 年度全国調査結果を起点とした対話

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 10:20

[SS-13]“推進力”のある国際戦略とは:国際業務の最適化が大学の未来を変える

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 10:20

[SS-14]デジタル技術を活用したグローバルラーニング

2025 年 8 月 7 日(木) 10:40 ～ 12:00

[SS-15]留学生数増と多様性向上を目的とする戦略的リクルート・パートナーシップの活用

2025 年 8 月 7 日(木) 10:40 ～ 12:00

[SS-16]海外留学の危機管理 ～実際のケース対応と解決策～

2025 年 8 月 7 日(木) 10:40 ～ 12:00

III. マイクロクレデンシャルの運用にかかわる研究

日本におけるマイクロクレデンシャル(MC)の発展にかかわる研究に参画するとともに、実践面では、質保証をともなった MC の運用のために関連する機関と連携した取り組みをすすめた。また、以下のシンポジウム・ワークショップ を実施した。

国際協働シンポジウム・ワークショップ

「世界におけるスキルの体系化とマイクロクレデンシャル」

・日程: 2026 年 1 月 22 日(シンポジウム)、1 月 23 日(ワークショップ)

・テーマ: 世界的な労働市場の変革に対応した、スキルの体系化とマイクロクレデンシャル(MC)の推進

・主催: 一般社団法人日本マイクロクレデンシャル機構(理事長:白井克彦)、科研費基盤研究(B)「アジア太平洋地域の大学ネットワークにおけるマイクロクレデンシャル運用の実証研究」(研究代表者:芦沢真五)、JIGE (Japan hub for Innovative Global Education) / 関西大学(事業総括担当代表:池田佳子)、一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会(理事長:白井克彦)

・後援: 一般社団法人国際教育研究コンソーシアム(RECSIE)、一般財団法人オー

オープンバッジ・ネットワーク

< 主要登壇者 >

Michele Tuccio 氏 (OECD)

Christopher Ziguras 教授 (メルボルン大学)

井上雅裕教授 (一般社団法人日本マイクロレデンシャル機構 / 大正大学)

Jintavee Khlaisang 教授 (チュラロンコン大学 / Thai MOOC)

Thapanee Thammetar 准教授 (シラパコーン大学 / Thai MOOC)

吉田俊明氏 (一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク) 他

＜SIIEJ2025 におけるワークショップ一覧＞

[WS-A]留学生リクルートに必要なインフラとマーケティング戦略を考える

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 12:00

[WS-B]留学経験をキャリアに活かすための実践型支援ワークショップ

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 12:00

[WS-C]国際寮ワークショップ～寮の課題と学生の気づきを促す工夫を学び合う～

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 12:00

[WS-D]学生/私たち自身の多様性を“可視化”する:BEVI×BEVI-ChatGPT の活用

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 12:00

[WS-E]日韓交流の新しい可能性:「文化的憧れ」を出発点として異文化感受性を育む

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 12:00

[WS-F]CLIL ワorkshop:やさしくても考えさせる問いの設計

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 12:00

＜SIIEJ2025 におけるセッション一覧＞

[SS-1]SIIEJ 初めの一步

2025 年 8 月 6 日(水) 8:00 ～ 8:40

[SS-2]カリキュラムの国際化を推進する

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 10:20

[SS-3]Internship Programs for Exchange Students in Japan and Korea: Case Studies

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 10:20

[SS-4]テクノロジー時代の国際教育 ― 動画制作を通じた多様性の体験的学習と協働

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 10:20

[SS-5]身体的アプローチから学ぶ異文化受容とストレス・マネジメント

2025 年 8 月 6 日(水) 9:00 ～ 10:20

[SS-6]国際共修のプロジェクト活動における AI 活用とコミュニケーション

2025 年 8 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:00

[SS-7]Making International Students Happy and Satisfied to create Active Alumni Globally

2025 年 8 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:00

[SS-8]文系外国人留学生の長期インターンシップ実施手法と課題

2025 年 8 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:00

[SS-9]大学国際化の『実現力』を高めるために大学職員が持つべきスキルセットとは

2025 年 8 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:00

[SS-10] From Insight to Action: Hands-On AI Tools for Int'l Educators

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 10:20

[SS-11]大学の国際化、多様化に向けた留学生受け入れの課題

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 10:20

[SS-12]大学国際化を担うひとの育成を考える:2024 年度全国調査結果を起点とした対話

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 10:20

[SS-13]“推進力”のある国際戦略とは:国際業務の最適化が大学の未来を変える

2025 年 8 月 7 日(木) 9:00 ～ 10:20

[SS-14]デジタル技術を活用したグローバルラーニング

2025 年 8 月 7 日(木) 10:40 ～ 12:00

[SS-15]留学生数増と多様性向上を目的とする戦略的リクルート・パートナーシップの活用

2025 年 8 月 7 日(木) 10:40 ～ 12:00

[SS-16]海外留学の危機管理 ～実際のケース対応と解決策～

2025 年 8 月 7 日(木) 10:40 ～ 12:00